

今シーズンは、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行が懸念されています。市町村では新型コロナウイルスワクチン予防接種の対応等、まだまだ感染対策が続きますが、体調には十分ご注意ください。今回は、乳幼児突然死症候群(SIDS)、母子保健専門研修会Ⅱについて等の内容となっております。

長野県PRキャラクター「アルクマ」  
©長野県アルクマ



..... 乳幼児突然死症候群 (SIDS)対策強化月間.....

11月1日(火)から11月30日(水)までの1か月間を、「令和4年度乳幼児突然死症候群(SIDS)対策強化月間」とする通知が厚生労働省からありました。(10月21日OnePublic掲載)

本疾患は、何の予兆や既往歴もないまま乳幼児に突然の死をもたらす疾患です。

これまでの研究により、以下のことで乳幼児突然死症候群の発症の危険性が低くなるというデータがあります。健診等での発症予防に対する啓発をお願いします。

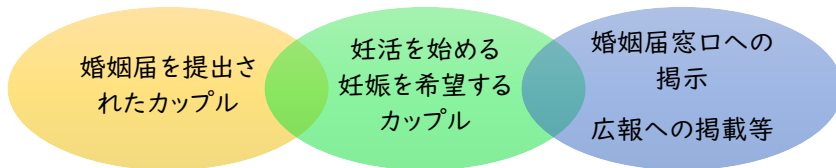
- ①1歳になるまでは、寝かせる時はあおむけに寝かせる
- ②できるだけ母乳で育てる
- ③保護者等のたばこをやめる

なお、10月21日のOnePublicに、ポスターやリーフレットが添付されていますので、ご活用ください。



..... プレコンセプションケア支援事業について.....

10月初めにリーフレット「プレコン、始めませんか」を作成し、市町村をはじめとする関係機関に配布しました。本事業の対象となる方々への周知、よろしくをお願いします。



なお、不足した場合は、下記アドレスから印刷しご自由にご活用ください。(在庫はありません。)

長野県妊活支援サイト「妊活なごの」<https://ninkatsu.pref.nagano.lg.jp/topics/507/>

妊活検診(不妊検査)費用助成事業(令和4年4月開始)

妊娠を希望する夫婦(事実婚を含む)が、お互いの健康状態を確認し、将来の妊娠に向け健康管理に活かすことを目的に検査費用を助成します。



検査を受けた感想も掲載されています。

対象者	今までに不妊治療(人工授精・体外受精・顕微授精)を受けたことのない夫婦 妻の年齢が40歳未満であること 夫婦双方又は一方が長野県に住所を有すること *出産歴の有無は問いません。二人目不妊等が心配な方も対象となります。
助成回数	夫婦一組につき1回
助成内容	必須検査(男性:精液検査、女性:AMH検査)を含む検査費用と証明書文書料 *夫婦双方が検査を受けることが必要です。
助成金額	上限2万5千円
その他	事業に関する情報(妊活なごの): <a href="https://ninkatsu.pref.nagano.lg.jp/subsidy/384/">https://ninkatsu.pref.nagano.lg.jp/subsidy/384/</a> 妊活検診(不妊検査)Q&A: <a href="https://ninkatsu.pref.nagano.lg.jp/faq_cat/cat06/">https://ninkatsu.pref.nagano.lg.jp/faq_cat/cat06/</a>

..... 当センターの研修会について(現在、決定しているもの).....

研修会	開催日	内容等
母子保健専門研修会Ⅲ (長野県立こども病院 共催)	12月7日(水) 14:00~16:15 オンライン研修	内容 :こどもの発達を伸ばすリハビリテーション 通知日 :11月9日(水)メール配信 申込締切 :11月30日(水)ながの電子申請による

# ..... 令和4年度母子保健専門研修会Ⅱを開催しました（9月21日） .....

「新生児期から幼児期における視覚・聴覚」をテーマに、視覚に関することを上田保健福祉事務所 鈴木所長から、聴覚に関することを信州大学医学部 工教授、長野県難聴児支援センター 原山療育支援員から、ご講義いただきました。アンケートでの質問について情報提供します。

参加者数：57所属115名 研修内容の理解度：平均4.4点（5点満点） 研修会の満足度：4.5点（5点満点）

## ○アンケートに寄せられた質問への回答

**Q1** 【視覚】視能訓練士がアンケート確認・屈折検査を実施しています。3歳児健診では異常なしでしたが、就学前健診にて発見・治療開始となった事例あります。弱視の原因が4つ挙げられていましたが、屈折検査で見つけやすいもの、逆に発見が難しいものがありますか？ その場合、保護者は、どのようなことに注意していけばいいですか？

屈折検査で早期発見できる弱視として、①両眼の屈折異常による弱視（屈折異常弱視）、②左右眼の屈折値の差による片眼性の弱視（不同視弱視）があります。斜視弱視と形態覚遮断弱視は屈折異常を伴わないことがあるため、屈折検査のみでは見逃してしまうことがあります。このため、屈折異常がない場合には視力検査を行い、視力が正常範囲内であることを確認する必要があります。

\*屈折異常→視力検査をするまでもなく精査が必要

屈折正常→異常を否定できないため、視力検査が必要

ただし、まれに3歳児健診後から小学校入学までの間に眼帯の装用などにより形態覚遮断弱視となることがあるため、保護者の弱視に対する理解を深めていただくことも大切です。



**Q2** 【聴覚】新生児聴覚スクリーニングでOAE実施し「異常なし」の児の経過観察は、どのような点に気を付ければよいですか。

OAEを実施した児も、他のお子さん同様、音反応やことばの育ちを総合して見てください。

**Q5** 【聴覚】ささやき声の検査は、決まった6つの言葉で周波数の確認をしているということでしょうか。

ささやき声の検査は、語音の聞き取りに必要な「きこえ（周波数や音の大きさ等）」を確認しています。

**Q3** 【聴覚】先天性難聴と診断され、人工内耳装着を行う場合、手術はどこで受けられますか。

また、アフターケアやフォローは、医療機関と難聴児支援センターが行うのですか。

人工内耳の手術は、信州大学医学部附属病院で行い、術後の調整やハビリテーションは基本的には、信大病院にて行いますが、北信地域の方などはみやがわ耳鼻咽喉科きこえクリニック（長野市）でもフォローしています。

その後のフォローは医療機関を中心に、難聴児支援センターが繋ぎ役となり、各関係機関と連携して行っています。

**Q6** 【聴覚】外国語で育つ児の場合、どのように検査を行えばよいですか。以前、対応した時は、母国語で検査を実施しましたが、その児は母国語でも絵指示が出来なかったため、病院受診を勧めました。

外国語で育つ児（両親ともに外国語使用）の場合は、もともと聞き慣れているであろう言語で実施いただくのがよいかと思えます。すでに保育施設などに入所している場合は、日本語を聞き慣れている可能性も高いので、日本語でも実施してください。

**Q4** 【聴覚】児の受診や治療状況は保護者に直接確認していますが、医療機関からも情報提供がありますか。

市町村への情報提供については、保護者のニーズ（希望）を確認しながら行っています。市町村に乳幼児健診や就園のタイミングで難聴児支援センターから連絡を取り、連携させていただくことが多いです。今後、どのように行うのが良いか検討を行っています。

**Q7** 【聴覚】次の事例は、精密検査の対象となりますか。

- ①発達支援センターを利用中で、母がことばについて気になると回答している事例
- ②参考・重要項目は問題なし。ささやき声4個以下で、児がふざけている疑いの事例
- ③母はことばを気にしている（か行→た行になる）が、その他項目やささやき声、言語理解に問題がない事例

①②③のようにことばの育ちが気になる（保護者が不安を感じている）児は、基本、精密検査を勧めてください。すでに他科（小児科など）にかかっている児は、主治医に相談するよう説明しても良いです。

-----\*\*-----\*\*-----\*\*-----\*\*-----\*\*-----\*\*-----

当センターへのご要望等ありましたら、母子保健推進員にお気軽にお声がけください。よろしくお願ひします。

<連絡先>◎信州母子保健推進センター 県保健・疾病対策課 直通電話 026(235)7141

担当圏域	母子保健推進員	配置場所	連絡先
佐久・上小・飯田・長野・北信	小山 佐知恵	保健・疾病対策課	026(235)7141
諏訪・伊那・木曾・松本・大北	伝田 純子	松本保健福祉事務所	0263(40)1937